

求職者に対する職業能力開発

神奈川県商工労働部産業人材課

1. はじめに

わが国経済は、平成9年4月からの消費税の引き上げ、特別減税の廃止やアジアの金融危機・通貨危機、さらに国内の金融機関の大型倒産に始まった金融システム不安などにより、大変厳しい経済状況となっています。

雇用失業情勢も、全国の完全失業率は、平成10年4月以来、毎月4%を超え、平成11年6月には、4.9%と統計を取り始めた昭和28年以降最悪を記録し、平成11年9月には4.6%と若干の改善の兆しが見え始めたものの依然厳しい状況となっています。

特に神奈川県の有効求人倍率は、平成10年度平均で0.37倍であり、平成3年度以降、全国平均を下回る状況が続いています(表1)。

平成11年9月の有効求人倍率は、全国平均の0.47倍に対し、神奈川県は0.36倍となっています。

また、平成11年9月の年齢別有効求人倍率は、45歳以上で0.15倍と、家族を支える中高年離職者にとって大変厳しい雇用環境となっています。

このような状況を踏まえて神奈川県では、平成10年度から離転職者の再就職の支援を図るため、緊急雇用対策特別訓練をはじめとするさまざまな職業能力開発の取り組みを行っています。

2. 平成10年度の職業能力開発の取り組み

神奈川県では、最近の厳しい雇用情勢に対応するため、平成10年度当初予算において、県単独事業として「緊急雇用対策特別訓練事業」を計上し、実施しました。

この事業は相次ぐ金融・証券・ゼネコン等の経営破綻等により、一時的に多数の離職者が発生した場合に備えて、10コース、200人分の職業訓練を弾力的に実施できるように対処したものです。

その後のさらなる雇用情勢の悪化に伴い、国の総合経済対策の一環として、「緊急雇用開発プログラム」が実施されたことに伴い、平成10年度9月補正予算において、国からの委託事業として、「緊急雇用対策特別受託訓練事業」および「障害者職業能力開発特別委託事業」の職業訓練を、離職者対象として追加実施し、再就職の促進を図ることとしました。

訓練コースの設定については、雇用環境の厳しい中高年齢者に配慮するとともに、資格取得や再就職に結びつきやすい、旋盤・エクステリア・ビルメンテナンス・ホームヘルパー等やキャリアアップのためのパソコン講座等を設定し、高等職業技術校等で実施しました。

また、厳しい就職状況に対応して、各高等職業技術校等の修了生や緊急雇用対策特別訓練受講の修了生に対する県独自の取り組みとして、各校に「求人開拓推進員」を各1名配置して、企業を訪問し、就職先の開拓を図るとともに、技術校生等の就職相談、無料

表1 有効求人倍率(年度平均)の推移

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
神奈川	1.45	1.50	1.25	0.78	0.49	0.42	0.42	0.50	0.51	0.37
全国	1.30	1.43	1.34	1.00	0.71	0.64	0.64	0.72	0.69	0.50

職業紹介を行いました（表2）。

3. 平成11年度の職業能力開発の取り組み

全国の完全失業率が引き続き4%を超える大変厳しい雇用情勢に対応するため、神奈川県では、求職者の就職を支援する「緊急雇用対策特別訓練事業」

表2 平成10年度（10～3月）求人開拓推進員実績

新規開拓求人数	1,043人
就職相談件数	1,448件
職業紹介件数	424件
就職者数	94人

表3 平成11年度緊急雇用対策特別訓練の概要

校名	コース名	内容	日数(日)
短大	パソコン実務入門	パソコン基礎操作方法、表計算	10
	ビルクリーニング	ビルクリーニングの基礎知識・技能	10
鶴見	造園作業の基礎	造園施工、樹木の管理等	10
	ワープロ技能評価受験準備講座	ワープロ受験準備講座	10
	日商簿記検定3級受験準備講座	日商簿記検定3級受験準備講座	24
紅葉丘	ホームヘルパー2級	2級ホームヘルパー	21
	溶接基本技能	ガス溶接、アーク溶接修了証取得	10×2コース
	CADによる機械図面の描き方	CADによる部品図、組立図を作図	8
川崎	C言語による機器制御	C言語による外部機器の制御法	10
	溶接基本実習	ガス溶接、アーク溶接	10
横須賀	旋盤基本実習	旋盤の基礎技能	10
	パソコン実務入門	パソコン基礎操作方法、表計算	10
衣笠分校	CADによる建築図面の描き方	CADによる建築図面の描き方	10
	インテリア施工入門	壁紙の張り方の基礎から部屋の施工方法	10
平塚	パソコン実務入門	パソコン基礎操作方法、表計算	8×2コース
藤沢	ホームヘルパー2級	2級ホームヘルパー	21
	パソコン実務入門	パソコン基礎操作方法、表計算	16×2コース
小田原	パソコン基礎講習	パソコン基礎操作方法、表計算	14×2コース
	溶接基本技能	ガス溶接、アーク溶接	10
秦野	電気工事基本技能	第2種電気工事士試験の準備講習	10

24コース・定員370人
 既存コースへの受け入れ分 300コース・定員1,500人
 （平成10年度実績）
 21コース・受講者323人
 既存コースへの受け入れ分 37コース・受講者110人

など、求職者に対する職業訓練を大幅に拡充して実施しています。

3.1 緊急雇用対策特別訓練事業

県立の各高等職業技術校や産業技術短期大学校では、最近の雇用情勢の悪化により、離転職を余儀なくされた方々の再就職を支援するため、10日間程度の短期間の「緊急雇用対策特別訓練事業」を実施しています。

本年度は、パソコン実務入門や溶接基本技能など24コース、定員370人を予定し、実施しています（表3）。

各講座の定員は10人から20人程度で、コース設定の都度、募集を行い、住所地を管轄する公共職業安定所に申し込むこととしています。

また、企業等の在職者を対象とした在職者訓練講座の中にも、求職者を優先する枠を設定しています（写真1～3）。



写真1 京浜高等職業技術校「溶接基本技能」



写真2 鶴見高等職業技術校「ビルクリーニング」

3.2 中高年齢者のための訓練事業

中高年の方々の就職環境は、とりわけ厳しい状況にあります。

こうした方々の再就職を支援するために、45歳以上65歳未満の方を対象とした「中高年パワーアップ講座」を高等職業技術校から神奈川県職業能力開発協会に委託して、実施しています（表4）。

この講座は資格取得や実務の習得を目指すもので、各講座の定員は40人程度です。

また、中高年の求職者のための新規事業として「緊急中高年再就職促進特別訓練（パソコン実務講座）」を実施しています。この講座は離職を余儀なくされ、公共職業安定所長の受講指示または受講推薦を受けた45歳以上60歳未満の方を対象に、高等職業技術校から専修学校に委託して実施しています。訓練期間は3ヵ月で、延べ8コース、定員240人で実施しています（写真4）。

表4 平成11年度中高年パワーアップ講座の概要

講座名	日数	定員
簿記2級受験準備講座（工業）	10	42
簿記2級受験準備講座（商業）	10	42
簿記3級受験準備講座	11	42
第3種冷凍機械責任者受験準備	12	42
経営管理実務講座	10	42
2級ボイラー技師受験準備講座	12	42×4講座
第2種電気工事士受験準備講座	9	36×2講座
宅地建物取引主任者受験準備講座	11	42×2講座
法人税基礎実務講座	9	42
社会保険労務士受験準備講座	14	42
延べ15講座		618



写真3 紅葉ヶ丘高等職業技術校「日商簿記検定3級」

3.3 障害者のための訓練事業

離職を余儀なくされた障害のある方の再就職の支援のために、「障害者職業能力開発特別委託事業」として、OA経理に関する職業訓練を平成10年度に引き続き実施しています。

この講座は、神奈川県障害者職業能力開発校から専修学校に委託して実施するもので、訓練期間は3ヵ月で、2コース、定員30人です（写真5）。

また、平成10年度に引き続き、各高等職業技術校等に各1名の「求人開拓推進員」を配置して、修了生の就職の促進に努めています。

4. おわりに

以上、神奈川県の「緊急対策における職業能力開発の取り組み」について記載しましたが、雇用環境が依然として厳しい状況の中で、引き続き、求職者の方に対する、就職支援のための職業能力開発に全力で取り組んでまいります。



写真4 情報科学専門学校「パソコン実務講座」



写真5 大和商業高等専修学校「OA経理」